
monsterhunter 3(three)

桜花舞うデュアルソード(ミズハ真)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

monsterhunter 3(three)

【Nコード】

N2632L

【作者名】

桜花舞うデュアルソード(ミズ八真)

【あらすじ】

三種の古龍が力を託した三人のハンターの物語

基本毎日更新です。

始まり

純白の髪の少女「まずい……この邪気は……炎龍 鋼龍 霞龍に伝えよ、
時がきたと……」

? 全ての始まり

リョウ「リナっ、シビレ罨!」

リナ「オーケイ はいっ」

リク「麻醉だま〜……………忘れた(笑)」

リナ「バカッ」

ポイツ

バサルモス「ZZZ……」

リナ「ついでに(笑)」

ポイツ

リク「ギャーーーーー」

リヨウ「……………やりすぎだよ」

リナ「そうかしら？まあ、行きましょ」

リヨウ「ええええええ　リクはシビレ罫にかかっているのにい」

リナ「うるさいわよ」

太刀を構えるリナ

リヨウ「か、帰りましょうハハハ（汗）」

集会場にて

シロ「旦那〜無事だったのかにや〜シロは嬉しいですよにや〜」

リヨウ「シ、シロ　抱きつくなよ」

シロ「旦那〜」

リナ「リヨウはアイルーとなかがいいね。」

リク「だなー」

ギルドのおっちゃん「おーい、君達、皆にシエンガオレンが現れた。

至急防衛に向かってくれ」

リョウ「行こう、古龍たちとの約束だもの！」

リク、リナ「うん！」

キャラクター紹介

リョウ

防具 ミズハ

武器 双剣

リク

防具 クシャナ

武器 大剣

リナ

防具 エンプレス

武器 太刀

シロ

アイル
色 純白

皆蟹シエンガオレン

リク「何もいねーなー」

リナ「イーオスならいるわよ」

リヨウ「シエンガオレンもいるはずだけど」

リク「何も知らないようだから教えてやるっ。シエンガオレンは、
ぼくらよりも遅れて来るのさ」

リナ「来たわよっ」

リク「いくぜっ」

リヨウ「了解！」

リナ「きゃあ!？」

シエンガオレンが酸弾を吐いたが、気付かなかったリナは当たってしまった

リク「大丈夫か？」

リナ「なんとか」

リョウ「ヤドは堅いから腹や足を攻撃したほうがいいよ」

三人はシエンガオレンの足に攻撃をしていく

リク「スゲー足が赤くなつたぜ！、うわっ」

シエンガオレンが足に蓄積したダメージに耐えきれずに倒れる

リナ「チャンス」

リョウ「乱舞ー」

リナの鬼刃切りとリョウの乱舞がシエンガオレンに決まり、大量の血が出る。

しかし、シエンガオレンは立ち上がり、また歩き始める

リク「コイツかなり鈍感だな」

リナ「どうでもいい事言わずに攻撃しなさい」

リク「はい」

リョウ「くっ、切れ味が」

リョウが砥石を使い、双剣を研ぐ

リナ「どっか行っちゃったよ？」

リク「多分三番だな」

リナ「リョウ、遅いとおいていっちゃごぞ〜」

リョウ「まってよー」

皆蟹 シェンガオレン2

リヨウ「はぁ、はぁ、まってくれー」

リナ「早くしないとシェンガオレンが来るよー」

リク「もう来てるぞー」

リヨウ「乱舞!!」

リク「溜め切り!!」

リナ「鬼刃切り!!」

シェンガオレンの足が青く戻った

皆「えっ」

ガッシャーン

シェンガオレンが倒れ、リクが飛ばされる

リク「くっ」

リナ「大丈夫？」

リク「大丈夫大丈夫」

リヨウ「じゃあ」

皆「おりゃー」

シエンガオレンが、立ち上がり逃げていく

皆「やったー」

リヨウ「切味が…」

リク「双剣だからだろ！」

リナ「これは何かしら？」

リク「どれ？」

そこには、漆黒の欠片があった

リョウ「村長に聞いてみるか」

リナ「だね」

村長「これは…どこに…」

リョウ「砦にありました」

村長「ついてきなされ」

ついで行くとそこには漆黒の大剣があった

リナ「なにこれ…」

村長「漆黒の力を秘めた大剣じゃな。ほれ」

村長が大剣を削り、破片を渡してくる

リク「削っちゃっていいんですか？」

村長「再生するからの、この大剣は」

リョウ「すごい」

村長「ほれ、帰りなされ」

皆「はい」

密林にて 大地は桜空は蒼

ギルドのおっちゃん「すごいじゃないか！撃退したんだって!？」

リナ「まあね」

ギルドのおっちゃん「密林の火竜を倒さないか？」

リク「オーケイ」

リヨウ「早く行こうぜ」

リナ「おっちゃん〜いってきまーす」

ギルドのおっちゃん「いってらっしやーい」

リク「空気が美味しいね」

リヨウ「何しに来たかわかってる?」

リク「森林浴」

リナ「馬鹿ね」

リヨウ「うん」

リク「…冗談だよ」

リヨウ「とりあえず行こう」

リナ「そうね」

バサア　バサア

リヨウ「リオレウス？行くぞ！」

リナ「私が注意を引くからシビレ罠お願い」

リク「わかった」

リヨウ「リナも早くっ」

リオレウスがシビレ罠にかかり、動きを止める

リク「溜めっ切りっ」

リナ「鬼刃切りっ」

リョウ「双剣乱舞っ」

バサア　バサア

皆「リオレイア!?!」

リョウ「二ひき同時は無理だ。一度逃げろぞ」

リナ「仕方がない。リクっ早くっ」

リク「わかってる」

密林にて 大地は桜空は蒼（後書き）

小説書くの大変ですね。

まあ頑張ります。

火竜夫妻は下位ならごり押しで倒せますが（三人もいるし）そこは
おおめに

密林にて

大地は桜空は蒼

リナ「リオレイアとリオレウスが一緒は大変よ」

リク「そこでこれ、閃光玉今なら一つ500円さあ、買った買…」
ボカ

リナ「行くわよ」

リク「待てー」

リョウ「閃光玉っ」

物凄い閃光で目が痛い。しかし、目をつむってないリオレウスやリオレイアほどではない

リョウ「レウスから、乱舞」

リク「オーケイ」

リナ「いいわよ」

三人の連続攻撃で倒れるリオレウス
しかし、最後の力で逃げていく

リク「行かせるか！」

リヨウ「見てろって、えいつ」

リオレウスが麻醉玉で寝た

リナ「あとはリオレイアね」

リク「うわっ」

リオレイアが火炎弾を吐いてきた

リナ「一気にいくよ」

リク「オーケイ」

リヨウ「乱舞！」

リク「危ない！」

リオレイアが火炎を吐いてきたが、そのすきにリクが溜め切りを決めると、翼に傷がつく

リナ「えーい」

こうしてリオレウスとリオレイアを倒した

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2632/>

monsterhunter 3(three)

2010年10月10日02時43分発行